

長浜市西黒田地区の担い手確保のための支援

湖北農業普及指導センター

【普及活動のねらい・対象】

西黒田地区は、長浜市東部の山脚部に立地する8集落で構成され、主に2つの大規模法人経営体と4つの集落営農組織、数名の個別経営体により耕作されています。8集落のうち4集落には中心的な経営体が存在せず、担い手の確保や農地維持等について話し合いが進んでいませんでした。そこで、関係機関が連携して地区全体の課題として包括的に支援し、各集落や地区全体での話し合いを誘導しました。

【普及活動の内容】

関係機関と連携し、各集落の担い手や農業組合長に対し以下のような支援を行いました。

(1) 「西黒田地区の農業を考える会」の開催(7月24日)

各集落での話し合いを促すため、西黒田地区の現状と課題について意見交換を行いました。

(2) 担い手の意向調査、法人化支援(8～11月)

各担い手の意向把握のため、法人を含む個別

経営体(認定農業者)にはアンケート調査を、各集落営農組織には聞き取りを行いました。さらに、法人化意向のある集落営農2組織には農業経営アドバイザー制度を活用した支援を行い、法人化へ誘導しました。

(3) 集落での話し合いの誘導(10～12月)

アンケート調査および聞き取り結果を「人・農地プラン」素案としてまとめ、集落内に離農者がいる場合、その農地の受け手について集落での話し合いを促しました。

(4) 西黒田地区「人・農地プラン」全体検討会議の開催(1月10日)

これまでの経過と西黒田地区全体の「人・農地プラン」の内容説明、「人・農地プラン」を活かした事例紹介を行い、今後の地区全体としての話し合いの継続について呼びかけました。

【普及活動の成果】

関係機関が連携して支援を行ったことにより、西黒田地区全体の8集落で「人・農地プラン」が策定される見込みとなりました。また、集落内に担い手がいる集落では、集落営農の法人化支援、離農者が出た際の話し合いの促進ができ、集落内に中心的な担い手がない集落では、集落外担い手により農地を維持管理されていることを改めて意識してもらうことができました。

今後も西黒田地区で継続的に担い手の確保のための話し合いが行われるよう支援を行っていきます。



写真 関係機関と共に集落営農組織への聞き取り

◎対象者の意見

これまで離農者が生じた場合など、皆で話し合うことはなかったが、今回の支援で話し合うきっかけづくりができて良かった（西黒田地区H町農業者）。